

# 東京病院ニュース

## 第8号

2004年1月発行



発行元 国立療養所東京病院

〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1

TEL 0424 (91) 2111 FAX 0424 (94) 2168

ダイレクト・イン・ダイヤル 0424 (91) 4134

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/tokyo/>

皆様明けまして  
おめでとうございます。

昨年4月1日に、毛利昌史先生の後任として院長職を仰せつりました四元と申します。どうぞよろしくお願います。



さて、当院では病棟と外来棟が新しくなり病院が文字どおり面目を一新しましたが、いよいよ本年4月1日から病院が独立行政法人に移行します。これまでの国立病院からなれば民間病院の仲間入りするわけで財政的には厳しい現実には直面しますが、医療の分野では以下の目標をたててこの荒波を乗り切り、ますます皆様方に役立つ病院にしたいと考えています。

第一点は専門病院としての充実です。当院は呼吸器疾患の専門病院として関東のみならず全国でも有数の施設として知られていますが、これからも精進してこの分野での一層の充実をはかりたいと思います。

第二点は地域のニーズに応える病院としての拡充です。当院では呼吸器のほか消化器科、肝臓科、神経内科、リハビリテーション科や緩和ケアなどの病棟を有しており、また、最近では眼科、整形外科を開設し地域の皆様役に立つ医療を目指しています。病院のまわりの環境も大きく変わりつつありますが、東京病院は地域と共生する病院として発展していきたいと考えています。

本年も皆様にとってよい年になりますようにお祈りします。

病院長 四元秀毅



### 東京病院概要

**環境**

当院は、東京都の西北に位置し、周囲二帯には多くの雑木林が点在し、閑静で空気清澄な武蔵野の面影を今も残す恵まれた自然環境にあり、交通至便で医療施設として最適な環境にあります。

### 東京病院理念

- 1、医療を受ける人の人権と権利を第一に考えます。
- 2、一人ひとりの患者様にとって、最善で安全な医療の提供に努めます。
- 3、地域医療機関と協力し、在宅医療の推進に努めます。
- 4、医療の教育・研修にも努力し、情報提供に努めます。
- 5、常に高度先進医療を目指します。



## 独立行政法人への移行の年を迎えて

今年の4月からいよいよ東京病院は、独立行政法人に移行します。正式には独立行政法人国立病院機構東京病院となり、国立療養所東京病院40年の歴史の幕を閉じることになります。

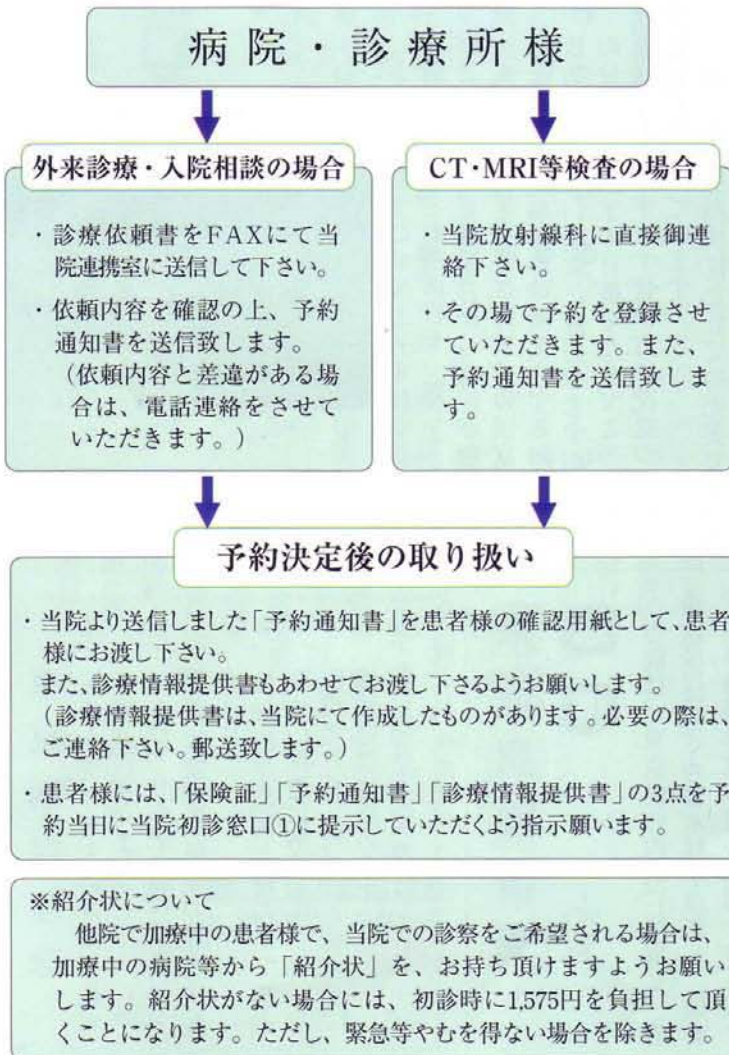
私は、昭和51年に東京病院に就職しましたが、10000床の結核病床を持つ2つの療養所が統合してすでに15年が経過しており、大気安静、隔離の時代から化学療法により結核が治る時代になり、結核以外の呼吸器疾患さらには呼吸器以外の疾患を扱う病院へと脱皮が迫られていました。まさに変革の時代でした。最近10年間は、行政改革の嵐の中で国立病院療養所は、統廃合、移譲を行い、体質改善を行ってきています。さらに公務員削減計画がだされ国立病院療養所は独立行政法人に移行することが決定されました。東京病院も、神経内科、リハビリテーション科、肝臓内科、消化器外科、最近では、眼科、整形外科、循環器科が新設され、今年の春には耳鼻科外来が始まります。まさに、結核の療養所から一般の疾患を扱う病院への脱皮の歴史でした。

独立行政法人への移行は、第2の変革の時期にあたると思います。独立行政法人化を前にして、今後5年、10年後の東京病院がどうあるべきか、どの様に独自性を出していくかが問われています。結核診療に関しては、今後も日本の拠点病院として先駆的な役割を負っていかなくてはなりません。さらに、今後は救急医療も含め、地域の要求に応えられる開かれた病院にしていく必要があると思います。

岐路に立ち努力してきた先人の知恵に学び、独立行政法人化を大きなチャンスにして、さらなる飛躍をめざしたいと考えています。

副院長 小松彦太郎

### 〈患者様のご紹介方法について〉



### 医療連携室の設置について

当院では、従来から地域医療連携を進めてまいりましたが、連携業務を一層推進するために、医療連携室を設置しました。地域各医療機関(病院・診療所)から当院『医療連携室』を経由して初診患者様を紹介して頂く場合に、前もって予約、カルテの作成をさせて頂き患者様のスムーズな受診を促進します。

また、ご紹介を頂いた患者様につきましては、患者様の精査加療が終了次第、原則として、紹介を頂いた医療機関での継続診療をお願いすることとしております。

### ☆ 医療連携室 ☆

電話(直通) 0424-91-2934  
 (病院代表) 0424-91-2111  
 FAX(専用) 0424-91-2125  
 受付時間 午前8時30分～午後3時30分  
 (土・日・祝日及び  
 年末年始の期間を除く)

医療連携室長 原田英治



# ★★★★★★ シリーズ・ドクター紹介 ★★★★★★

①診療案内 ②出身地 ③趣味及び特技 ④モットーとする言葉 ⑤好きな食べ物 ⑥その他メッセージ



- ①呼吸器外科
- ②長野県
- ③写真・パードウォッチング
- ④プラス思考・何ができるか
- ⑤肉類・うどん
- ⑥元気のある病院を目指してがんばりたいと思います。

こまつ ひこたろう  
小松 彦太郎  
(副院長)



- ①整形外科
- ②東京都府中市
- ③子供と遊ぶ・日曜大工・水泳・スキー
- ④総親和総努力
- ⑤何でもいただきます。
- ⑥サービス業としての診療と独法化後のコスト削減の両立を考えながら早く業務に慣れたい。

おかざき ひろし  
岡崎 裕司  
(整形外科医長)



- ①呼吸器内科
- ②鹿児島県鹿児島市
- ③釣り・テニス
- ④無心
- ⑤和洋中何でも
- ⑥呼吸器疾患について納得のいく医療をめざします。

ほり しゅうご  
堀 昭作  
(呼吸器科医師)



- ①呼吸器外科
- ②栃木県宇都宮市
- ③ドライブ・音楽鑑賞
- ④平常心
- ⑤ビール・白飯
- ⑥患者様にも理解できる言葉で接し共に治療に向かえる様努力したいと思います。

くわ た ひろみ  
桑田 裕美  
(呼吸器外科医師)



- ①呼吸器内科
- ②日本(東京都豊島区)
- ③サッカー・ドライブ・日焼け
- ④来るものはこぼまず、去るもの追わず
- ⑤カレー・ドリアン
- ⑥実は江戸っ子です。宜しくお願ひ致します。

ひら ま みちひろ  
平間 未知大  
(呼吸器科医師)



- ①呼吸器内科
- ②神奈川県横浜市
- ③バレーボール
- ④冷静
- ⑤果物(もも、梨など)
- ⑥一緒にがんばりましょう。

はら ひろみち  
原 弘道  
(呼吸器科医師)



## ● 事務新人紹介 ●

「この世で一番哀れな人は、目も見えていてもビジョンのない「人だ」とは、三重

重苦を持った奇跡の人、ヘレンケラーの言葉。「人」を「加藤」におきかえてみれば、昨年も反省すべき点は多い。

さて、4月からの独立行政法人化を控える国立病院・療養所。良くも悪くも「権限」と「責任」が拡大し、「自立」が求められるようになる。医療界を見渡せば、昨年の病床機能分化、構造改革特区における株式会社化の医療参入解禁決定、サラリーマン本人の医療費3割負担等、今後ますます「改革」の流れは進んでいく。病院を取り巻く環境は大きな変化を見せつつあり、今後の「業界内淘汰」を予見する専門家さえいる。

より政策医療に取り組むことになる国立病院にも「変化」が求められているのは確かだが、意味や価値のない変化など存在しないと思いたい。変化の時こそ、学び、成長できるチャンスと捉え、それだけでなくまだまだ新人の私は、様々な人に教えを請い、「ビジョン」を探る1年にしていきたい。

事務部・庶務係 加藤光洋



血液をサラサラにする薬

体中を流れる血液は、血管の中では固まらず、血管に傷がついて漏れ出したときには固まって傷口を塞ぐようにできています。ところが、血管の中で血液が固まって内腔を塞いでしまう病気があります。血管や心臓の中で血液が固まってしまったものを血栓といいます。これには、血管の内腔が動脈硬化により狭くなり壁の内面に傷がついてそこに血栓が形成されるものと、血液の流れが緩慢になったところに血栓が作られ、それがはがれて血管の中を流れて別のところに詰まってしまうもの（塞栓症）があります。前者には脳梗塞、心筋梗塞があり、後者には心房細動という不整脈で脳塞栓になったり、下肢の静脈炎から肺塞栓を起こしたりするものがあります。

これらの病気を予防するために血液を固まりにくくする薬が使われます。薬の作用機序から抗血小板薬と抗凝固薬に分類されます。アスピリン（商品名パツファリン81、バイアスピリン）は抗血小板薬の代表的な薬です。1日1回1錠内服します。一方、抗凝固薬にはワーファリンという薬があります。こちらは、

効き具合を毎月血液検査で調べて、丁度よい投与量を患者さんごとに決める必要があります。効きすぎると出血する病気になる危険性が高まり、まれですが脳出血をおこすこともあります。しかし、正しく使えば出血性の病気になる危険性よりも血管が閉塞する病気の予防効果の方がずっと大きいことがわかっています。

循環器科医長 瀬川和彦



昭和18年傷痍軍人東京療養所当時の入寮者が描いた貴重な鳥瞰図を発見いたしました。管理棟1Fラウンジに展示してあります。

庶務課長補佐 岡田 睦

進む肝癌の治療—ラジオ波焼灼（しょうしゃく）凝固療法

ラジオ波（しょうしゃく）凝固療法は、人体にラジオ波を流すことにより体内に熱を発生させ、その結果癌を凝固させる治療です。

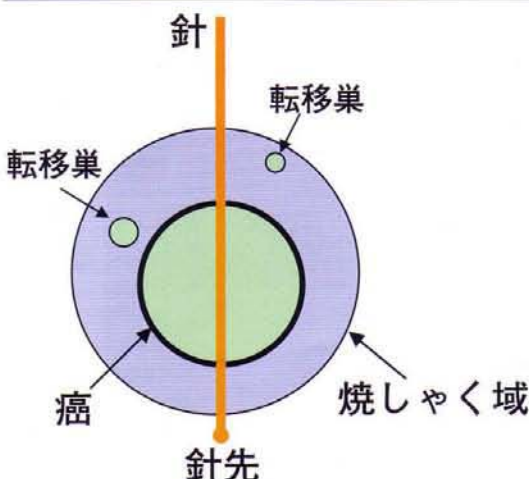
この治療法の出現により、癌をより確実に処理できるようになっただけでなく、癌の周りの組織をも含めて処理をすることが可能となりました。癌の周囲には、検査では見つけられなくてもすでに転移果がある可能性があり、癌の周囲を凝固させることは、癌を治す上で大変重要なことです。その結果、お腹を開けなくても、手術に迫る治療効果が期待できるようになりました。

具体的には、まず超音波で見ながら肝臓内の癌をめぐり直径1.5mm程度の針を刺します。その後この針からラジオ波を流しますと、針先周囲、すなわち癌およびその周囲に熱が発生し、癌が死んでいくわけです。12分間ラジオ波を流して、1回の操作を終了します。腫瘍の大きさにもよりますが、ひとつの癌の治療に1〜4回ほどの操作を必要とします。

問題点として、治療中の痛み、吐き気が上げられますが、薬を用いることで、これらの症状を極力抑えるように努めています。その他、頻度は少ないものの出血や胆管損傷をきたすことがあります。

今後、これまでのマイクロ波凝固療法、経皮的エタノール注入療法に代わり、肝癌治療の主役となっていくのは間違いないと考えられます。

消化器科医長 上司裕史





新棟で「在宅酸素の会」を  
開催しました

平成15年5月22日木曜日に、第17回「在宅酸素の会」を開催いたしました。走り梅雨を思わせる天候が続くなか、久しぶりに晴れに恵まれたことを幸運に思っております。会場の場所が分かりづらいのではないかと心配しておりましたが、参加者は患者様48名（入院患者様5名）、訪問看護ステーション・他施設などから12名、その他栄養補助食品・酸素業者や職員を含み90名となりました。内容は

①当院呼吸器内科の馬場基男医師による「肺アスペルギルス症の診断と治療」では、肺アスペルギルス症について専門的な内容を解りやすく説明されました。

②帝人在宅医療株式会社久保池聡氏による「新型酸素濃縮器の紹介」では加湿水を使わない最新の濃縮器についての紹介がありました。

③リハビリテーション学院中山孝教官による呼吸リハビリテーションは毎回好評を頂いていますが、今回は「目標は良いコンディション—マイペースの大切さ—」をテーマに講義と軽い運動を実践指導されました。

ご参加の皆様からは、それぞれの内容に大変興味を示していただき、「知識の幅が広がり生活の刺激と工夫になる」「不安があったが病氣と向き合う勇気が



湧いた」などの声をいただき、次回に反映できるようにと考えています。

今回、会場として新しい大会義室を使用し、携帯酸素を持ち歩くのにも十分な広さがありました。また、映像機器や音響などの設備が整い効果的であったと思っております。開催にあたりご出席いただきました皆様に深く感謝いたします。一般呼吸器内科病棟と協力して年2回開催しますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

看護部 外来看護師 種谷美津香

永年勤続表彰を受けて

1月6日に30年永年勤続表彰をうけました。昭和48年4月に国立東京第一病院（現国立国際医療センター）をスタートし、現在4施設目になりました。長ければよいと言わねばなりません、振り返るとこれまで大きな失敗を起さずやっつけて来たのは不思議なことです。看護師を志望した時に両親から猛反対をされ、就職の際も「お前はそっかしいから」と、大きな失敗をして辞めさせられる、と思っていたようです。幸い就職当時からよい先輩達に恵まれ、昭和56年から57年にかけてメキシコ合衆国交換留学の機会も頂き、とても感謝しています。

看護師長としてもスタッフの時とは異なる視野で物事を見つめ、考えることを学ばせて頂いています。しかし、この30年を通していちばん学ばせて頂いたのは患者さんであると思います。今後も、患者さんに学びたいと思っています。皆様のご指導をこれからもお願いする次第です。

5 西病棟 看護師長 富山静子



思い出の自衛消防審査会

まだ暑さの残る9月19日、7月より厳しい練習を積み重ねてきた成果を発揮する日がやってきました。東京病院自衛消防隊は、事務部より男子隊1チーム、看護部より女子隊2チームの編成です。今年も上位を目指して気合を入るために、朝から会場で輪になって、自前のお弁当とアイスクリームを頬張ります。

自衛消防の審査内容は、建物で火災が発生したと仮定し、その確認、連絡、消火、けが人の応急手当等です。大きな声、迅速さ、きびきびとした態度（手先がきちんと伸びているかまで見られます）が良い点数を取れるか否かの分かれ目です。

「東京病院自衛消防隊、訓練を開始します!!」大きな声で審査が始まりました。私たち応援者もカメラを用意し、勇姿を撮ろうと固唾をのんで見守ります。

結果は・・・東京病院は上位2チームに入ることができました。とても動きが良かったので上位に入ると思っていました。・・・うーん、残念です。もっと悔しいのは、日々練習してきた隊員たちでしょうね。次回の自衛消防審査会もこの悔しさをバネに頑張らしましょう。

最後に、毎日暑い中練習に励んでくれた白石さん、中川さん、金井さん、五月女さん、伊藤さん、池田さん、ほんとうにありがとうございました！

庶務課庶務係 矢部真理子





## クリスマスコンサートを開催して

平成15年12月22日(月)に「聖なる調べをあなたに」をテーマに、外来、入院患者様を対象に、当院で初めてのクリスマスコンサートが外来待ち合いホールにおいて開催されました。

病院からの協力と援助を受け、看護研究会が中心となって企画・運営を行いました。素適なクリスマスツリーの飾り付けを行い、外来待合ホールがまるでホテルのロビーを思わせるような雰囲気になりました。ポスター作製、会場設定とわくわくしながら準備し本番を迎えました。

コンサートは、ルーテル学院大学の学生(22名)にボランティアで参加していただき、キャンドルサーブिसによる登場で始まりました。患者様130名を観客として、クリスマスにちなんだ名曲7曲をまるで教会の中にいるかの様に、とても良い雰囲気で聴くことができました。30分間という短い時間でしたが、感激して涙されている方や、患者様のアンケートから、「気持ち癒された」「元気をもらえた」「美しい歌声にびっくりした」「思いがけずクリスマスプレゼントをもらったような楽しいひとときだった」という声をいただきました。私達も患者様の満足された表情を拝見し、取り組んで良かったと思っています。

今回の経験を踏まえて、次のコンサートはもっと盛大に楽しんでいただける内容を企画していきたいと考えています。参加、ご協力いただいた方々に感謝いたします。

看護研究会会長 1病棟看護師長 渡部祐子



## 東京病院今昔、呼吸器病の患者さんを通して

高齢者、障害者のリハビリテーションの担い手が理学療法士(P.T)および作業療法士(O.T)であり、今後ますます需要が高まると思われまます。東京病院付属リハビリテーション学院は、

この有名な話が伝わっています。この伝統を受けて多数の優秀な卒業生を輩出しており、全国の大学にも多くの教師陣を送り出しています。残念ながらこの学院は平成20年3月をもって閉鎖されることとなります。

呼吸器科医長 町田和子

「日本には系統的なリハビリテーション医学が必要である。」とのWHOの勧告を受けて、1963年に日本で最初に作られたP.TおよびO.Tの養成施設です。病院の「呼吸リハビリテーション」は学院の教官にお願いしているもので、先生方をご存知の患者さんも多いでしょうが、学院自身は研修センターの隣、結核研究所と向いあう二階建ての建物です。P.TおよびO.Tそれぞれ1学年20名、3年制の専門学校ですが、学生のレベルが高く熱心なこと、自由で学問的な雰囲気、学費の安いこと、競争倍率が高く大卒の多いことなどで知られています。開設当初はWHOから外国人講師陣を招き、講義も英語で行ったそうで、東京病院初代院長砂原茂一先生の「蘭学事始のごとく、大海に漕ぎ出す一艘の船のようであった。」





## お名前確認にご協力を

当院ではこの度、患者さまのお名前を確認させて頂くことになりました。

患者さま間違いによる事故防止のため、ご協力をお願いいたします。

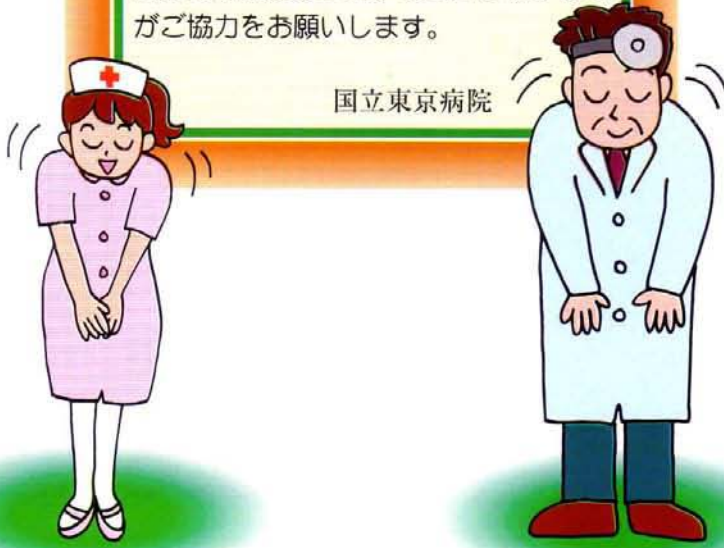
医療安全管理室専任リスクマネージャー 石川清美



### お願い

当院では、患者さまを間違えないためにお名前を確認しています。職員が患者さまのお名前をたずねましたら、姓名（フルネーム）をお答えください。何度も確認させて頂くこととなりますがご協力をお願いします。

国立東京病院



## 「第十一回喘息教室」を開催

平成15年11月25日（火）雨が降り寒い日でしたが、外来2階の会議室において「喘息教室」が開催されました。内容は、

1、インフルエンザについて（斎藤若奈医師）

\*インフルエンザは普通の風邪とはちがいで、空气中に拡散されたウイルスを気道に吸入することにより感染します。

\*インフルエンザにかからないためには

インフルエンザワクチンの接種、うがい、手洗い、栄養、加湿器、マスクの使用など。

\*喘息とインフルエンザの関係

インフルエンザにかかると、ひきつづき喘息発作が出て、重症化する危険が高くなるため、インフルエンザワクチンの接種をお勧めします。

ワクチンの副作用で喘息発作が出ることは稀ですが、卵・鶏肉にショックを起こすなどの重篤なアレルギーの方は主治医とよくご相談ください。

\*インフルエンザにかかったら

早めに医療機関を受診して治療をうけましょう。また、他の人にうつさないようマスクをしてください。

睡眠を十分にとり、安静にし、お茶やジュースなど水分を十分に補給しましょう。

2、病気に負けない体力作り（中山孝教官）

自転車のチューブを使用した簡単な筋力トレーニングの方法

3、喘息の自己管理について（川辺芳子医師）

パンフレットを用い、喘息の正しい知識をもち、正しい治療をおこない、コントロールすることで、自分らしい過ごし方ができます。

その他、外来看護師によるピークフローメーターの使用方法の実演をおこないました。

次回は患者様自身の体験談や治療の疑問点など話し合える時間がもてる企画をたてますので大勢の皆様方の参加をお待ちしています。

看護部外来看護師 小松崎良子





専門外来案内

専門外来名	診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください	
肝臓	月～金	体がだるい、黄疸や食欲の低下、健診で肝障害のある方、平成4年以前に輸血を受けた方。	
呼吸器関係外来	息切れ	月(午前)	動くと息切れがあったり、最近息切れが強くなってきた方。
	喘息	火(午後)	「喘鳴」「発作性の咳」が主な症状です。特に夜間から明け方の咳き込みは要注意です。
	禁煙	金(午前)	タバコがどうしてもやめられない方。
	肺がん外来	木(午前)	紹介状をお持ちの方、セカンドオピニオンを希望される方。
	間質性肺炎	水(午前)	この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。治療が難しく、膠原病に合併する場合があります。
	非定型抗酸菌症	水(午前)	咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。
	気胸	火・金	突然の胸痛、息苦しさを感じます。
いびき	木(午前)	ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われたらご相談ください。	
手掌多汗症	火・金	今増加している疾病です。手のひら、腋、顔面の発汗が多い症状です。(汗で手が滑る、握手もできないこともあります。)	
ものわすれ外来	水(午後)	最近ものわすれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。(あらかじめ神経内科を受診して下さい。)	
糖尿病	木(午後)	のどがかわきやすい、体重が減ってきた。(無症状が多いので、健康診断で異常を指摘される場合が多い。)	
緩和ケア	木(午前)	末期の悪性腫瘍やエイズによる痛みやいろいろな症状でつらい思いをされている方。	
大腸がん	火(午後)・金(午後)	便に血が混ざる、下痢と便秘の繰り返し、便が細くなったなど。	

受付時間 8:30~11:00 診療時間 8:30~17:00

休診日 土・日・祝祭日および年末年始(12月29日から1月3日)

代表電話番号 0424-91-2111

内線番号がおわかりの方は0424-91-4134  
(ダイレクト・イン・ダイヤル)をご利用下さい

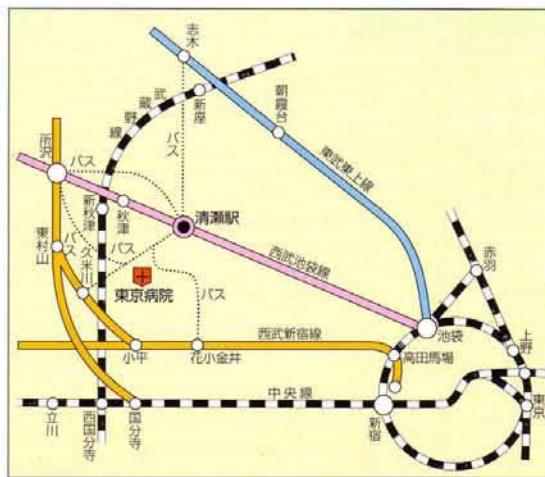
ICU 4床  
560床(一般406床・結核150床)

病床数



- 呼吸器科
  - 消化器科(肝臓疾患)
  - 循環器科
  - リハビリテーション科
  - 呼吸器外科
  - 消化器外科
  - 神経内科
  - 緩和ケア科
  - 整形科
  - 放射線科
  - 眼科
  - 外科
- ICU(集中治療室)

診療内容



当院の位置

- 西武池袋線 清瀬駅南口下車(池袋から準急25分)。清瀬駅南口からタクシィ5分。徒歩20分。(西武バス)
- 南口②番乗り場から久米川駅行・下里団地行・花小金井行・所沢東口行に乗り、六ツ目(約5分)の東京病院玄関前下車。
- 武蔵野線 新秋津駅からタクシィ5分。徒歩20分。
- 西武新宿線 久米川駅、花小金井駅、所沢駅東口から清瀬行に乗り、東京病院玄関前下車。
- 東武東上線 志木駅から清瀬行のバス路線があります。

交通



看護師募集中!

35才位まで、元気な方

(連絡先) TEL 0424-91-2714  
FAX 0424-91-2115

電話連絡の上、履歴書を持参下さい。  
FAXでの応募も可です。

